

## 猪高の森自然観察だより 4月号

開催日時:2021年4月25日(日) 9:30~12:10 天候:晴

テーマ:春の植物とカエルの子

参加人数・構成: 20名 小学生以下1名、保護者(父母等)2名、一般17名  
(うち指導員3名、60代以上(?)13名)

コース: 森の集会所 → オオシマザクラのある畑 → 井堀分岐 → 井堀の大クス →  
井堀下池 → 井堀の棚田 → ハンノキ湿地 → こもれば池 →  
シダレザクラの里 → 森の集会所  
(高低差もあり、ハードなコースでした)

### こんな観察会でした

暖かい日が続いたこともあり、花々も例年よりも早く咲き進み、虫・花・葉の様子が3月の観察会とは、全く変わった状況でした。観ること、ものがたくさんあり、出発前から時間内に終われるかなあと、ちょっと心配!

まず初めに、参加者の方々にかぶれやすい植物の葉、の形やハチの対処の仕方などを説明、もう、オオスズメバチは活動開始しています。

森の集会所の回りで、沢山増えているオオワ  
ラジカイガラムシと遭遇、オスとメスとの形  
の違いにビックリ。あまりにも沢山いるので  
「苦手な人は無理に見ないでいいですよ!」

少し時間を取りすぎてしまいましたので、  
次の畑へ。

動物の名前のついた花たち、ケキツネノボタン、  
カラスノエンドウ、スズメノエンドウ、スズメ  
ノヤリ、スズメノテッポウなどなど。

クワの雄株、雌株のちがいは比べて観ることですぐわかります。ただ、両株にはもう毛虫の類が結構ついています。毛虫・芋虫で赤や黄色の色が付いている種類は特に要注意、毒を持っている時があります。分からないときには触らない。「触らぬ神に祟りなし」

他に、フジの花、キャベツの花、ヤブニンジン、ノミノフスマ、ムラサキケマンなどなど。

井堀分岐の木道行きは時間の都合でカット。



オオワラジカイガラムシ(メス)



ケキツネノボタン

井堀の大クスは写真の通りの大木。外来種のクスベニヒラタカスミカメの被害は今のところ確認されていませんが、広がって来ているので心配です。夏鳥のキビタキの声も聞けました。でも他の鳥の鳴きまねをするのは困りもの。キビタキは美しい声で知られています。

途中の道脇で、サンショウ 3 種(サンショウ、イヌザンショウ、カラスザンショウ)とヤマハゼ、タラノキが1カ所に生えている所を見つけました。おっと、それは触っちゃだめ！かぶれるよ。(皆、同じタイプの形の葉です)

井堀下池は田んぼに水を供給する大事なため池です。オトシブミの揺籃(ようらん)を発見、よくこんなきれいな形の物をつくるなあ、でも親は見当たらない。カマキリの幼虫やニホンアカガエルの成体も人気者です。

棚田は「しろかき」が終わったところです。来月には田植えが行われます。ツバメが巣作りの泥を運んでいます。サワフタギの白い花が美しい。赤いヤマツツジが隣にあるので余計に映えます。

コメツブツメクサ、カラスノエンドウ・カスマグサ・スズメノエンドウのエンドウ3種がいつぺんに見られました。

ヌマガエルも登場、ひっくり返してお腹をなぜるとおとなしくなるはずなんだけど。。(中々ならないなあ。ごめんね、かえるさん)

再び、オトシブミ登場、今度は揺籃と成虫も一緒にいました。

ナラメリンゴフシは最初見つけた時は、大きさと形にびっくりしました。



井堀の大クス



井堀下池



井堀の棚田



キツネノボタンをようやく見つけます、今年は少ない。

ハンノキ湿地をと通ってこもれび池へ、足を早めて急ぎ気味です。

こもれび池はフジの花盛り、ウシガエルのおたまじゃくしがいます。

お互いの都合が合えばカワセミに出会える池ですが、今日は忙しいらしいです。



サワフタギ

シダレザクラの里もそこそこに、森の集会所に到着。

どうにか時間に間に合いました。

参加者の方々の感想は、「虫のことが聞けて良かった」等概ね良好。

あとの振り返りでも「どうにか間に合って良かった」が続出、とにかく良かった…。

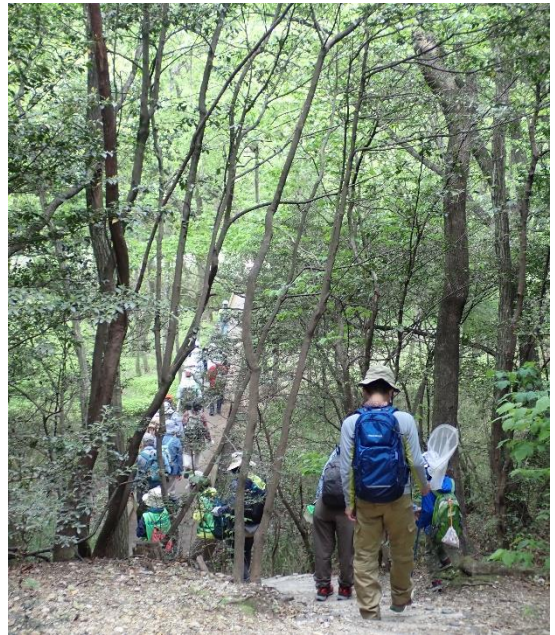
## 文章には登場しませんが、観察できた動植物

### ・開花していた草・樹

ハルジオン、ニホンタンポポ、セイヨウタンポポ、ヒメオドリコソウ、オオイヌノフグリ  
シラユキゲシ(園芸植物)、ミヤコワスレ(園芸植物)、ダッチアイリス(園芸植物)、アギナシ・オモダカノ仲間、オオジシバリ、ニガナ、オッタチカタバミ、カタバミ、ハコベ数種、シロツメクサ、オニノゲシ、ミミナグサの仲間、キランソウ、ショカツサイ、タカノツメ、カマツカ、カジイチゴ、コマユミ(植栽)、ビワ(果実、植栽) など

### ・昆虫、鳥など

キムネクマバチ、台湾ンタケクマバチ、コメツキムシの仲間、ゴミムシ・オサムシの仲間、クモの仲間数種、アメンボの仲間、ルリハムシの仲間、アオスジアゲハ、ナミアゲハ、クロアゲハ(?), イモムシ・ケムシの類色々、ハラビロトンボ(?)  
シジュウカラ(さえずりのみ)、ウグイス(さえずりのみ)、ハシボソガラス、ムクドリ、セグロセキレイ、メジロ(さえずりのみ)、コゲラ(声のみ)、ヒヨドリ  
ニホントカゲ、カナヘビ  
カダヤシ など



こもれび池のフジ

## 終わりに

これからの猪高の森は、白い雪のような柳絮(りゅうじょ)が舞い、おたまじゃくし達がカエルになる時期を迎えます。

来月のテーマは「新緑の中を歩こう」です。一緒に歩きませんか？